

ミックス万全の備え

さらに確かな業務連絡を行なうために用意したい周辺機器群。

クレーンに、デスクトップに、2タイプのスタンドマイク。

強力マグネット
トで車内にセット。
マグネット式
スタンドマイク
CMP826

シンプルな
デスクトップ用。
卓上型
スタンドマイク
CMP825

用途にあわせて、使い勝手を選べる4種の子機用送受器。

ハードな現場に——
ヘルメット装着タイプ。
マイク&フォン
CHP820+
ヘルメットクリップ
CMB821



マイク&フォン
CHP820
ヘルメットクリップ
CMB821

スタンダードな
ヘッドセットタイプ。
マイク&フォン
CHP820+
ヘッドバンド
CMB820



ヘッドバンド
CMB820

襟元にとめて、さりげなく
通話できます。
タイピン型マイク&イヤホン
CMP815



ヘッドセットとしても
使えるネックセット。
首にかけて通話。ヘッドホン感覚
でも使えます。
ネックセット
CHP823

CMP816 (接話型)
CMP816B (接話型)

子機を強化する充実のオプション製品。

電源部を合理的に。経済的な充電電池と充電器。

バッテリーケース
CBT820F
●付属品と同じ電池ケース。
スベアに、どうぞ。
小型ニッカド充電電池
CNB820(600mAh/3.6V)
●長さ10.5cmのショートサイズで
運用できます。
大容量ニッカド充電電池
CNB821(1200mAh/3.6V)
CNB833(1500mAh/3.6V)
●たっぷり長時間運用。バッテリー
ケースと同サイズ。



本体を傷やショックから守ります。

小型レザーケース
CLC820
●小型ニッカド充電電池CNB820
装着時のケース。
標準型レザーケース
CLC821
●バッテリーケースまたは大容量
充電電池CNB821/833装着時。



子機の携帯性を
さらに高めます。

アンテナ(ショートサイズ)
CAT427

●親機用の外部スピーカーもあります。ご相談ください。



「ミックス・ジュニア」の、
よくあるご質問に
お答えします。

Q ミックス・ジュニアは、最大24グループ
構築できるものではありませんか?

よくご存じですね。チャンネルプランから計算するとまさに
その通り。あくまでも理論上です。というのは、
インターリーブ波を使ったグループをプ
ラス12できるからです。しかし実使用では、
標準チャンネルとインターリーブの混在は
隣接チャンネルでの混信は、避けられませ
ん。ですから最大12ということにしているのです。それで
も音がかぶったりすることがありますのでご注意ください。



Q スタンダードの同時通話システムには、
他にどんなものがありますか?

最大1:8システムのミックス・プロ。必要なだけ子機がゆ
きわたる設定もできます。中規模用なら、音と感度に優れ
たミックス・ライトで1:4システム。軽作業移動用なら、携

帯型特定小電力無線。豊富なラインナップと納入実績を
誇るスタンダードです。なお「ミックス・サンド」RP820B
は、どんなミックス・シリーズと組み合わせても拡張がで
きます。たとえばミックス・ライトはフルシステムで1:4の5者
間通話が可能。ライト同士をサンドイッチすると全9者間
システムが完成します。これだけでも大規模システムに対
応できるというわけです。

SYSTEM	特定小電力	One	Jr.	Line	Pro	大規模利用	
	1	1	2	3	4	5	
		6	7	8			
	子機通話回線数						

Q 携帯型子機の急な電池切れが
心配なのですが……

本当に大切なことですね。携帯型無線機の性能で意外
に見逃されやすいポイントです。

作業中に通話
が途絶えたら、
元も子もありま
せん。HX833
は経済設計で

■子機HX833の電池交換の目安

電池の種類	連続通話時間
単3アルカリ乾電池	約13時間
単3マンガン乾電池	約4時間
小型充電電池CNB820	約4時間
大容量充電電池CNB821	約9時間
大容量充電電池CNB833	約11時間

定評がありますからご安心ください。たとえばおトクな充
電池を使いながら、単3乾電池をスベアにしたりするのはも
賢い使い方でしょう。

「ミックス・ジュニア」システム構成機器主要定格

親機RP830【一般仕様】●送信周波数:454.0500MHz~454.19375
MHz<6.25kHz(インターリーブ時)間隔で24波>●受信周波数:413.7000
MHz~414.14375MHz<6.25kHz(インターリーブ時)間隔で72波>●電波
型式:F3E●通信方式:複信方式●電源電圧:DC12~24V(ACアダプ
ター使用可能)●使用電源電圧:-10℃~+50℃●発振方式:水晶制御
周波数シンセサイザー方式●周波数偏差:±4ppm以内●寸法:115(W)×
64(H)×154(D)mm(突起物は除く)●質量:約1.6kg(フラケット含む)
【受信部】●受信方式:ダブルスーパーヘテロダイン方式●受信感度:-
10dBμ以下(12dB SINAD)●受信出力(SP出力):1.5W以上(歪率10
%にて)【送信部】●送信出力:1mW以下
子機HX833【一般仕様】●送受信周波数:400MHz帯の上り(送信)36
チャンネル、下り(受信)24チャンネル●電波形式:F3E、F2D●通信方式:複
信方式●定格電圧:4.5V●発振方式:水晶発振により制御する周波数シ
ンセサイザー方式●周波数偏差:±4.0ppm以内●アンテナ:ヘリカルアン
テナ(着脱可能)●周波数切替方式:手動切替/自動切替●寸法(突起物含
み):58(W)×119.5(H)×22(D)mm(CBT820F装着時)●質量:約200g
(単3乾電池3本含む)【受信部】●受信方式:ダブルスーパーヘテロダイン
方式●受信感度:-1.0dBμ以下(12dB SINAD)●スケルトン感度:-4.0dBμ以
下【送信部】●送信出力:1mW●変調方式:可変容量ダイオードによる直
接周波数変調



安全に関する
ご注意 ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。●不安定な場所や水、湿気、湯気、ほこり、油
煙などの多い場所に設置しないでください。事故、火災、感電、故障などの原因となります。●「保証書」は、記入事項をご確認のうえ、大切に
保管してください。●「取扱説明書」に従って、正しく配線を行わないと使用できません。

- 札幌営業所 〒060-0032 札幌市中央区北2条東7-82 ☎011-231-5000
- 仙台営業所 〒982-0011 仙台市太白区長町3-7-13 ☎022-308-3466
- 東京ビジネス営業所 〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8 ☎03-3719-2171
- 名古屋ビジネス営業所 〒465-0093 名古屋市名東区一社3-127 ☎052-702-8521
- 大阪ビジネス営業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町5-3 ☎06-6337-6501
- 広島営業所 〒730-0003 広島市中区白島九軒町21-15 ☎082-222-5169
- 福岡営業所 〒812-0014 福岡市博多区比恵町4-8 ☎092-441-9121
- 開発東京営業所 〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8 ☎03-3719-2002
- 開発大阪営業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町5-3 ☎06-6337-6578

お求めは信用とサービスの当店で

株式会社スタンダード 本社:〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8
☎03-3719-2231 http://www.standard-comm.co.jp/

●お問い合わせは、最寄りの販売店または(株)スタンダードまで、どうぞ。
●製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります。●製品の写真は、印刷の関係上、実際のものとは多少異なる場合があります。●このカタログの内容は2002年11月現在のものです。 PA21011ADN

作業用連絡通信システム



No License

ミックス・ジュニア

MS830



いまやグループ作業に欠かせない無線。特に安全第一の建設・港湾・構
内現場などでは、日常会話のように複数の人が同時に話せる無線インカ
ムが標準となってきています。スタンダードの「ミックス」。そんなハードな現場
のプロのニーズに応え、これまで確かな実績を積み重ねてきました。そして
磨き抜かれて生まれた「ジュニア」。優れた通話品質、高い安全性……。
3者間同時通話システムは、もう四の五のいわずに、安全に選ばます。



四の五の、いわない、
ミックス・ジュニア。

安全作業を力強く支えます。
「ミックス」ファミリー待望の3者間同時通話システム。
伸び盛りの現場に、選ぶなら、実力の有望株「ジュニア」です。

たのもし無線インカム。たくましい無線インカム。



※MS830は、「ミックス・ワン」のシステム品番です。

選ぶのは、もっと安全にもっと能率よく作業をするためです。 3者間同時通話システム——ミックス・ジュニア。

Basic MICS

アクティブなハンズフリーで日常会話のように話せる無線インカム。
迅速・確実な連絡と誘導で育てる安全な作業環境。ミックス・ジュニアです。



※写真は親機RP830+マグネット式スタンドマイクCMP826、子機HX833+
タイプンマイク型マイク&イヤホンCMP816Bです。

能率のいい安全作業を経済的にサポートできる業務用無線。なかでも建設現場など、緻密なチームワークが求められるグループ作業で支持されているのは、やはり無線インカム。特に免許が不要になってからますます注目されてきています。アクティブなハンズフリーで、まるで日常会話のように複数の人が同時に話せて、迅速かつ正確な誘導・連絡が安全に行なえる——。スタンダードのMulti InterCom System——MICS(ミックス)。騒音下でもクリアにメッセージ伝達できるその高品位な通話品質。導入がラクなそのシンプルな機器構成。豊富な入出力系統と小型設計による優れた設置性。そして全シリーズに共通する定評ある子機。建設・港湾・構内といった小・中規模現場のクレーン作業用3者間同時通話システムとして開発されたミックス・ジュニアにも、いうまでもなくこうしたミックスならではの長が受け継がれています。無線インカムの基本となるシステム「ミックス・ジュニア」。安全性の点でも、まさに基本にかえて追求した設計にしています。しかも拡張性をも十分に考慮しました。初めてご導入になる現場はもちろん、すでにミックスをご利用になっているところでも、ミックス・ジュニアなら、選んで、安全。将来も、安心です。

Great Son of MICS

Reliable System

●●● 実力装備

▶ 同一現場で最大12グループの3者間同時通話。全チャンネルをダイヤル選局。

クレーン作業などでもっともニーズの多い、親機1:子機2の3者間同時通話システム。ハンズフリーで、日常会話のようにスムーズに連絡しあえる無線インカム「ミックス」のベーシック・システム——それがミックス・ジュニアです。

「1mW 作業用連絡通信システム」という、いわゆる無線インカムに認可された全チャンネルをフル装備。同一現場で、最大12グループのミックス・ジュニアが活躍します。1グループ内で常時接続して通話できる子機は2台までですが、相互の連絡内容を聞き取るための子機は無数に増やすことができますので、たとえば作業ごとに通話参加するスタッフを替えるといった発展的な使い方ができます。また混雑チャンネルを回避したい場合は、空きチャンネルへダイヤルで簡単切り替え。万一、通話中に誤ってダイヤルを回してしまっても、そのままチャンネルをキープしながらアラームでお知らせする安心設計です。

▶ 安全第一。クリアな音や高感度など、連絡がハッキリ伝達できるミックスです。特に建設クレーン作業用に特化して開発されたミックス・ジュニア。デザイン的にもアクセントのあるフロントスピーカーが、騒音下でもスベのいい音で、シッカリとメッセージを伝えます。さらに必要な電波だけを鋭くキャッチする独自の高感度設計とあいまって、ストレスのない快適通話を実現します。

▶ 親機は、クレーン車専用機として、振動・ショック・耐熱性を考慮した設計。

厳しい環境下にさらされるクレーン。温度・湿度・振動・衝撃……。セッティングされる無線機も、こうしたシビアな条件をクリアして安定した通信が行なえる設計でなければなりません。RP830なら、安心です。文字通り、クレーン専用開発され、耐環境性や耐衝撃性に強い構造にしています。また



親機(制御主装置)
RP830

▶ インターリーブ波や、送・受信別に設定できるトンスケルチが混信を回避。

多数のシステムが密集しがちな大規模建設現場などでは、標準チャンネルでの混雑が激しい場合があります。こんなお悩みを解決するのが、標準チャンネル間にあるインターリーブ・チャンネル。過酷な現場のプロのニーズに応えるミックス・ジュニアは、シッカリと内蔵しました。また、まわりで同一チャンネルを使用している不要な音をカットするトンスケルチが送・受信ごとに設定でき、一段と強力に混信からのガードを固めています。

Safe System

●●● 安全装備

▶ 安心が、ついてきます。強制一斉連絡や拡声に、簡単切り替えできるダイヤル。

ミックス・ジュニアだからこそ、まさに万全の備えです。現場のプロの声とスタンダードの経験を文字通りミックスし、具体化しました。親機フロントパネルをご覧ください。いざというときに備えた装備。通話モードをいっしょに切り替えて通報できるダイヤルです。緊急事態発生!

というとき、子機の通話を強制終了させて親機からのみ指令できるようにしたり、外部トランベツトスピーカーを接続しておけば、現場一帯に広く緊急連絡を流すことができます。安全作業を進めるために、行き届いた配慮のミックス・ジュニアです。なおスピーカーは、脱落の少ないネジ固定式でケーブル接続でき、音量も適正レベルに変えられます。

▶ ミックス全シリーズに共通する定評ある子機。車載型子機も独自の設計。

同時通話タイプの携帯型無線機として各種産業界に普及・定着しているモデル。3つの親機の設定を賢く記憶するシステムメモリ。ミックスだけの便利な機能。子機HX833は、親機のチャンネル設定を3つまでメモリーして本体上部のキーで簡単に呼び出せます。クレーンごとに記憶させておけば3台のクレーンで使える子機になったり、1つの親機のチャンネルパターンを登録しておく、混信などで親機のチャンネルを変えた場合でも、ほぼワンタッチで子機側のチャンネルあわせができ、スムーズに通話スタンバイすることができます。

いうまでもなく微弱な出力の無線システムですから、コンピュータ制御の設備・機器類の電子回路には影響がありません。構内利用でも平気です。

Friendly System

●●● 親切装備

▶ 24V車やAC電源もOK。しかも小型。取り付けも操作も簡単な親機です。

あらゆるクレーンの電源につなげられるDC/AC2ウェイ仕様です。クローラクレーンに直結できるDC12~24V対応。さらにタワークレーンや構内利用も考えAC電源も使えるようにしました(ACアダプターが必要)。しかも制御部が一体になったオールインワンタイプの親機なのに、こんなにコンパクト。小ささ11.5(W)×6.4(H)×15.5(D)cm(突起物含まず)。設置スペースの狭いクレーン車内でも、オペレーターのジャマにならないところにスッキリとセットできます。天地自在の取り付けブラケットで、吊ったり底で固定したり。あとは、アンテナを電波効率のいいところに取り付けて、簡単接続のM型コネクターにつなぎ、スタンドマイクをジョイントするだけ。また大騒音下での利用の場合を考え、車内用外部スピーカーやヘッドセットもつなげられるようにしています。

▶ ミックス全シリーズに共通する定評ある子機。車載型子機も独自の設計。

同時通話タイプの携帯型無線機として各種産業界に普及・定着しているモデル。3つの親機の設定を賢く記憶するシステムメモリ。ミックスだけの便利な機能。子機HX833は、親機のチャンネル設定を3つまでメモリーして本体上部のキーで簡単に呼び出せます。クレーンごとに記憶させておけば3台のクレーンで使える子機になったり、1つの親機のチャンネルパターンを登録しておく、混信などで親機のチャンネルを変えた場合でも、ほぼワンタッチで子機側のチャンネルあわせができ、スムーズに通話スタンバイすることができます。

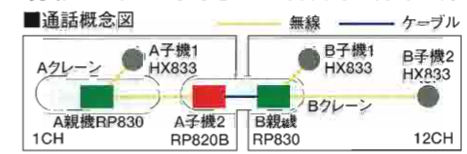
システムメモリ表示1

■アクティブな現場で支持される小型で合理的な無線機。携帯のジャマにならない薄型フラットなスタイリングで、軽さ200g(単3乾電池3本・アンテナ含む)。小型充電電池を使えば約10cmの軽快なショートサイズに。ボディは、ショックや振動に強いダイキャストシャーシと丈夫なポリカーボネート製の信頼構造。ハードな現場でも安心してご利用になれます。またバッテリー寿命にもご注目ください。アルカリ乾電池で連続約13時間の持久力。1日の業務に余裕で応える経済的なスタミナ設計です。必需品となる送受器は、用途にあわせて用意。ミックス・ジュニアでは、マイク&フォーンとヘルメット用クリップの組み合わせがほとんどでしょう。接続は、確実に固定できる特殊コネクターを使用し不意の脱落を防いでいるのもHX833ならではの設計。

● 共吊りに活躍する車載用子機。2つのミックスをつないで相互通話も実現します。



■ミックス・サウンド
車載型子機
RP820B
ありそうでほとんどなかった強力な車載型子機です。ミックス・ジュニアの1子機として使い、もう1台のクレーンに搭載すれば、オペレーター同士で話せるシンプルな共吊り用通話システムが実現。でも、こんな将来的な拡張利用もおすすすめします。2つのミックスをリンクさせて相互通話接続ができるようになります。たとえばミックス・ジュニアを使っているA/B2つのクレーン作業——。RP820Bがどちらかの子機になっていけば、この2つのシステム間で通話ができるようになり、全体で5者間の同時通話が可能になります。RP820Bが中継機またはネットワークハブのような働きをし、間にはさむことにより、ミックスがさらにおいしく使えるようになるわけです。だから「ミックス・サウンド」。大規模現場の共吊りにも対応できる発展的な利用です。



システムメモリ表示1

(連絡シッカリ伝わる。安全シッカリ広がる。)



子機
(携帯型無線機)
HX833

※写真は、オプションのアンテナCAT427装着時。
※HX833単体では、通話を行なうことができません。オプションの送受器が必要になります。